



第20回
国際歯周内科学研究会
福岡学術大会 抄録

令和5年 4月16日(日)

大会長 中野真紀

大会テーマ

「歯科内科から広がる未来」

●代表理事挨拶	_____	P2
●日程表	_____	P3
●会場案内	_____	P4
●基調講演1		
「口腸連関から考える歯周病と全身疾患の相互作用」	_____	P5
<small>理化学研究所生命医科学研究センター粘膜炎システム研究チーム 客員主管研究員</small> 山崎 和久 先生		
●特別講演2		
「歯周内科と医院の歩み」	_____	P8
<small>医療法人はなだ歯科クリニック理事長 国際歯周内科学会研究会参与</small> 花田 真也 先生		
●活動報告	_____	P9
●会員県別分布	_____	P10
●書籍紹介	_____	P11
●広告	_____	P14

第20回 国際歯周内科学研究会学術大会 ご挨拶

一般社団法人 国際歯周内科学研究会 代表理事 塚本 高久



平素より国際歯周内科学研究会の活動や運営にご協力いただき誠にありがとうございます。
ございます。

今回の第20回学術大会は福岡の地で開催され、以前の学術大会と同じように会場にライブで参加していただく学術大会とさせていただきました。WEB開催はWEB開催の良さがありましたが、会員のみなさまと会うこともできず会話もできない状況は会にとっても寂しい一面でもありました。前日セミナー、前日懇親会も含め、今回福岡での開催は会員の皆様とお会いできるという点は会にとっても私にとっても有意義な一日となることは間違いありません。

大会長は福岡県ご開業で当会の理事でもあります中野真紀先生をお願いいたしました。地の利を生かした大会運営と会員のみなさまに満足していただける学術大会にご期待ください。

ご講演はお二人の先生をお願いいたしました。

まずお一人目は理化学研究所生命医科学研究センターの山崎和久先生です。

山崎先生は、新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔保健学分野教授を経て現在は理化学研究所生命医科学研究センターでご活躍です。山崎先生のライフワークは口腔内細菌と腸内細菌の関連、全身疾患との関連で、当会でも課題の一つである「歯原性菌血症」についての先生のご研究を拝聴できるのは素晴らしい機会だと思っております。

山崎先生の業績論文はこちらもご参考にしてください。

202301 26分 口-腸関連を基盤とした歯周病と全身疾患の関連メカニズム① HTTPS://YOUTU.BE/9PEYJF2US70	
202301 17分 口-腸関連を基盤とした歯周病と全身疾患の関連メカニズム② HTTPS://YOUTU.BE/U1OFQ_ELJFK	

もうお一方は花田真也先生です。

花田先生は国際歯周内科学研究会初期より会のためにご活躍され床矯正研究会の代表になられた後も当会監事、現在は参与、としてさまざまなアドバイスやご指導をいただいております。最近では著書「臨床家のための床矯正治療 バイオフィンクショナルセラピーという新しいアプローチ」を執筆されています。今回は花田先生の床矯正治療とともに歩んだ歯周内科の取り組みについてお話いただきます。

ご参加の様子、雰囲気、講演についてのディスカッションなど皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

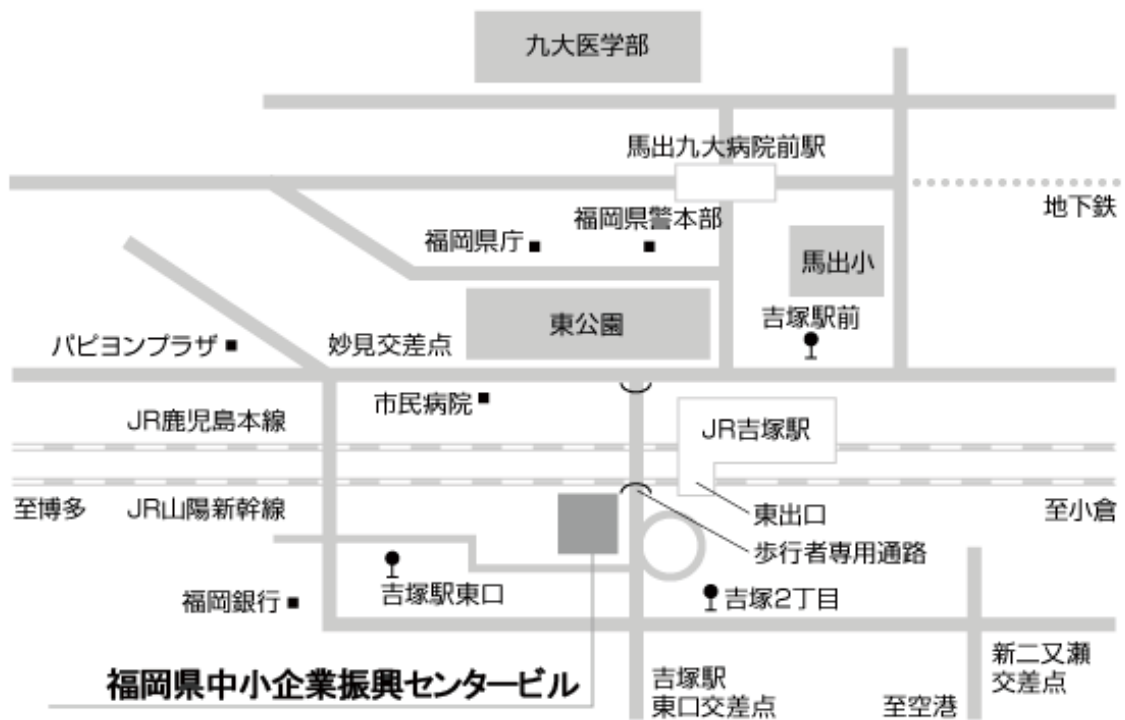
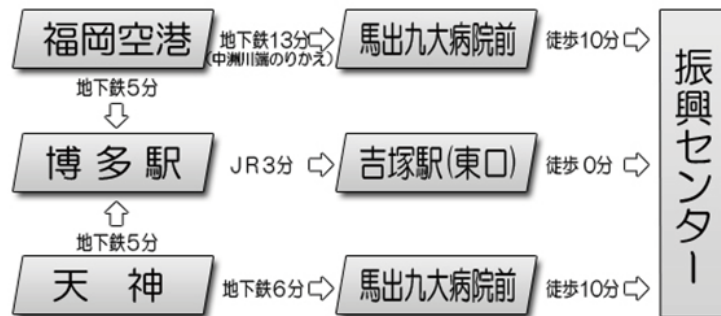
【2023年4月16日(日)学術大会日程表(予定)】

9時	開 場
10時	開会・ご挨拶
10時10分～12時10分	【120分】（質問・休息含む） ● 基調講演1 「口腸連関から考える歯周病と全身疾患の相互作用」 理化学研究所生命医科学研究センター粘膜システム研究チーム 客員主管研究員 山崎 和久 先生
12時10分～13時30分	昼 食 認定衛生士表彰 ランチオンセミナー
13時30分～15時30分	【120分】（質問・休息含む） ● 特別講演2 「歯周内科と医院の歩み」 医療法人はなだ歯科クリニック理事長 国際歯周内科学研究会参与 花田 真也 先生
15時30分～15時50分	連絡事項 閉会ご挨拶

会場案内 財団法人 福岡県中小企業振興センター

〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町 9-15

TEL 092-622-0011 FAX 092-622-0014



「口腸連関から考える歯周病と 全身疾患の相互作用」



理化学研究所生命医科学研究センター
粘膜システム研究チーム
客員主幹研究員

山崎 和久 先生

私たちの体が外界と接する皮膚や粘膜面（口腔から直腸に至る消化管、泌尿生殖器など）は多数の微生物（細菌やウイルスなど）によって覆われています。成人において、共生細菌の数は人体を構成する細胞の数を上回り、それらが持つ遺伝子の数はヒト細胞の100倍に及ぶとも言われています。健康な体と健康な細菌叢は互いに共生関係にあります。細菌叢の乱れは病気を誘発し、病気はまた細菌叢に悪影響を及ぼすというように私たちの健康は細菌と切っても切れない関係にあります。

中でも口腔と腸管には1000種類にも及ぶと言われる細菌が生息し、最も多様性に満ちた生態系となっています。近年、口腔細菌が腸内細菌を介して健康に悪影響を与えることを示す研究報告が増えています。関節リウマチや肝硬変、大腸がんなどの患者さんの腸内細菌に口腔細菌が多数検出され、病気の原因となっている可能性が指摘されています。口と腸は繋がっていますが、これまで嚥下された口腔細菌は胃液、胆汁酸がバリアとなって死滅し、腸まで届くことは稀だと思われてきました。こうした病気ではそのバリア機能が低下しているために、本来稀にしか検出されない口腔細菌の比率が高くなると推測されていたのですが、健康な人でも多数の口腔細菌が腸内に存在することが明らかになってきました。

口腔細菌叢のバランスの崩れで発症する歯周病は、糖尿病、非アルコール性脂肪性肝疾患、動脈硬化性疾患、関節リウマチなど、一見口腔とは関連が希薄な疾患の発症・進行リスクを有意に上昇させることが明らかになっています。歯周病とそれら疾患の関連は歯周ポケット・炎症歯周組織を起源とする菌（内毒素）血症と炎症性メディエーターの全身への拡散と考えられていますが、乱れた（ディスバイオーシス）口腔細菌叢が腸内細菌叢に悪影響を与えることが新たな因果メカニズムとして注目されています。一方で、腸内細菌叢が歯周炎に影響を与えることを強く示唆する報告もあります。

このように、口腔細菌と腸内細菌は密接に関連して口腔を始め全身の健康に深く関わっているのです。



International Society
Of Systemic Antibiotic Therapy
In Periodontology

◆略歴

新潟県出身

- 1980年 神奈川歯科大学卒業
- 1985年 新潟大学大学院歯学研究科修了
新潟大学歯学部附属病院助手（第二保存科）
- 1986年 オーストラリア・クイーンズランド大学ポスドク（1988年まで）
- 1988年 新潟大学歯学部附属病院講師（第二保存科）
- 1999年 新潟大学歯学部助教授（歯科保存学第二講座）
- 2004年 新潟大学歯学部教授（口腔生命福祉学科口腔衛生支援学講座）
- 2010年 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授（口腔保健学分野）
- 2020年 理化学研究所生命医科学研究センター粘膜システム研究チーム客員主管研究員
(現職)
- 2021年 新潟大学名誉教授

◆受賞歴

- 2002年 日本歯周病学会学術賞
- 2016年 IADR Distinguished Scientist Award
(Basic Research in Periodontal Disease Award)
- 2020年 日本歯科医学会会長賞（研究部門）
- 2021年 日本歯周病学会賞

◆資格

- 1985年 歯学博士（新潟大学）
- 1993年 日本歯周病学会歯周病専門医
- 1996年 日本歯周病学会指導医
- 2001年 日本歯科保存学会歯科保存治療専門医

◆本講演に関連する主な著書・論文

1. Yamazaki K. New paradigm in the relationship between periodontal disease and systemic diseases: effects of oral bacteria on the gut microbiota and metabolism., In: Nibali L, Henderson B, eds. The Human Microbiota and Chronic Disease: Dysbiosis as Cause of Human Pathology. Oxford: John Wiley & Sons, Inc., 2016: 243-261.
2. Yamazaki K, Miyauchi E, Kato t, Sato K, Suda W, Tsuzuno T, Yamada-Hara m, Sasaki N, Ohno H, Yamazaki K. Dysbiotic oral microbiota alters systemic metabolism via modulation of gut microbiota in germ-free mice. J Oral Microbiol. 14: 211019, 2022.
3. Yamazaki K, Kato T, Tsuboi Y, Miyauchi E, Sada W, Sato K, Nakajima M, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Matsugishi A, Takahashi N, Tabeta K, Miura N, Okuda S, Kikuchi J, Ohno H, Yamazaki K. Oral pathobiont-induced changes in gut microbiota aggravate the pathology of nonalcoholic fatty liver disease in mice. Front Immunol. 12: 766170, 2021.
4. Sato K, Yamazaki K, Kato T, Nakanishi Y, Tsuzuno T, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Miura N, Okuda S, Ohno H, Yamazaki K. Obesity-related gut microbiota aggravates alveolar bone destruction in experimental periodontitis through elevation of uric acid. mBio 12: e00771-21, 2021.

5. Tsuzuno T, Takahashi N, Yamada-Hara M, Yokoji-Takeuchi M, Sulijaya B, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi A, Katakura K, Tabeta K, Yamazaki K. Ingestion of *Porphyromonas gingivalis* exacerbates colitis via intestinal epithelial barrier disruption in mice. *J Periodont Res.* 56(2): 275-288, 2021.
6. Yamazaki K, Sato K, Tsuzuno T, Sulijaya B, Mashima I, Kawamura Y, Yamazaki K. Orally administered pathobionts and commensals have comparable and innocuous systemic effects on germ-free mice. *Microb Pathogen.* 140: 103962, 2020.
7. Okumura G, Kondo N, Sato K, Yamazaki K, Ohshima H, Kawashima H, Ogose A and Endo N. Experimental arthritis and *Porphyromonas gingivalis* administration synergistically decrease bone regeneration in femoral cortical defects. *Sci Rep.* 9: 20031, 2019.
8. Olsen I and Yamazaki K. Can oral bacteria affect the microbiome of the gut? *J Oral Microbiol* 11: 1586422, 2019.
9. Kato T., Yamazaki K., Nakajima M., Date Y., Kikuchi J., Hase K., Ohno H., and Yamazaki K. Oral administration of *Porphyromonas gingivalis* alters the gut microbiome and serum metabolome. *mSphere* 5(3): e00460-18, 2018.
10. Sato K, Takahashi N, Kato T, Matsuda Y, Yokoji M, Yamada M, Nakajima T, Kondo N, Endo N, Yamamoto R, Noiri Y, Ohno H, Yamazaki K. Aggravation of collagen-induced arthritis by orally administered *Porphyromonas gingivalis* through modulation of the gut microbiota and gut immune system. *Sci Rep* 7: 6955, 2017.
11. Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Matsuda Y, Sato K, Takahashi N, Nakajima T, Yamazaki K. Brazilian propolis mitigates impaired glucose and lipid metabolism in experimental periodontitis in mice. *BMC Complement Altern Med* 16:329, 2016.
12. Nakajima M, Arimatsu K, Kato T, Matsuda Y, Minagawa T, Takahashi N, Ohno H, Yamazaki K. Oral administration of *P. gingivalis* induces dysbiosis of gut microbiota and impaired barrier function leading to dissemination of enterobacteria to the liver. *PLoS One.* 10: e0134234. 2015.
13. Arimatsu K, Yamada H., Miyazawa H., Minagawa T., Nakajima M., Ryder MI, Gotoh K., Motooka D., Nakamura S., Iida T., Yamazaki K. Oral pathobiont induces systemic inflammation and metabolic changes associated with alteration of gut microbiota. *Sci Rep.* 4: 4828, 2014.



International Society
Of Systemic Antibiotic Therapy
In Periodontology

「歯周内科と医院の歩み」



医療法人はなだ歯科クリニック理事長
国際歯周内科学研究会参与 花田 真也 先生

はなだ歯科クリニックは2000年5月に開業で今年23周年を迎えます。「開業して2年くらいは外科処置はできるだけしない方がいい」という勤務医時代の院長の教えを守り、3年目になってから歯周外科を始めました。私自身外科が好きなので、高名な歯周病専門医の先生のセミナーに通いつめ、一生懸命外科テクニックの向上に努めました。しかし歯周外科が必要な患者さんを口説いて、FOP、エムドゲインを用いた再生療法を行っても、予防歯科での継続来院になかなか結びつかず、その多くは再発してしまいました。また難治性の歯周病は20%ほどあり、歯周外科での治癒は難しいと聴いて愕然としました。ただし、難治性の歯周病には化学療法が有効である事をそのセミナーで教えていただき、化学療法について色々調べたことで生田岡南先生の歯周内科にたどり着きました。開業して4年後2004年でした。

歯周内科治療を長年行ってきて感じるのは、その治療結果の素晴らしさだけでなく、予防歯科への導きやすさです。予防歯科で有名な歯科医院を見学してもそこまで予防チェアの稼働率がそれほど高くない場合もありますが、歯周内科に力を入れている医院を見学するとどこも予防の予約がパンパンの状態です。

小児を予防へ導きやすいのは口腔機能発達不全症と床矯正です。小児う蝕はかなり減りましたので、虫歯予防で通院する意味も小さくなっています。しかし、歯列不正や咬合異常は増えています。機能不全も咀嚼不全→嚥下不全→呼吸不全という様に深刻になっています。う蝕の管理だけでなく、機能管理をする予防がとても重要になっています。

経営面で言うと、予防による収益はストック型または農耕型ビジネスと考えられます。患者さんがリピートして来院するので、新しい患者さんを多く集めなくても徐々に収益が上がっていく安定したビジネスです。一方、治療はフロー型または狩猟型ビジネスと考えられます。つまり新しい患者さんを多く集め続けなければ収益が上がらない不安定なビジネスです。医院の規模が小さくても大きくても、フロー型ビジネスからストック型ビジネスに移行することが医院安定の大きなポイントになることは間違いありません。

はなだ歯科クリニックのこれまでの取り組みである、歯周内科、床矯正、訪問診療（摂食嚥下指導）など振り返り、医院として成熟した現在の状況、そして歯科界のこれからについてお話ししたいと思います。

国際歯周内科学研究会の活動報告(2022年(R4)1月～12月)

4月17日(日) 第19回国際歯周内科学研究会 学術大会 オンデマンド

「歯周病が血管をだめにし、血管が全身をダメにしている。

わかったこととこれからの仕事」

医療法人慶友会つくば血管センター 所長 岩井 武尚 先生

「健康から生まれる本当の歯科医療の価値」

医療法人雄之会つきやま歯科医院専門医療クリニック天神 院長 築山 鉄平 先生

「歯周内科治療と医科歯科連携を考える」

医療法人ウエルビーイング 津島歯科 院長 津島 克正 先生

7月28日(木) 参与松本 秀規先生 ご逝去

9月1日(木)

津島 克正先生 代表理事辞任 塚本 高久先生 代表理事就任

福重 真佐子先生 理事辞任 副代表理事辞任 参与就任

河内 洋順先生 筆頭理事就任

米崎 広崇先生 副代表理事就任

井原 雅人先生 副代表理事就任

末廣 恒生先生 理事就任

中野 真紀先生 理事就任

樋田 秀一先生 理事就任

田中 貞明先生 評議員就任

10月16日(日) 第14回秋季カンファレンス オンデマンド

「人生100年時代の歯科医院のこれから～真に社会に求められる歯科医療の実現」

かすみり・おしむら歯科 院長 押村 憲昭 先生

「近代歯周内科の考え方」

医療法人T&C塚本歯科クリニック 理事長 塚本 高久 先生

会員県分布図

都道府県	歯科医院数	研究会会員数
北海道	2,786	104
青森県	490	35
岩手県	550	12
宮城県	1,052	47
秋田県	423	14
山形県	465	26
福島県	830	19
茨城県	1,365	31
栃木県	958	17
群馬県	974	41
埼玉県	3,540	90
千葉県	3,238	73
東京都	10,704	179
神奈川県	4,973	103
新潟県	1,114	17
富山県	439	12
石川県	480	11
福井県	299	11
山梨県	429	2
長野県	989	22
岐阜県	949	24
静岡県	1,745	39
愛知県	3,704	167
三重県	805	29
滋賀県	564	16
京都府	1,282	21
大阪府	5,472	147
兵庫県	2,958	97
奈良県	682	29
和歌山県	521	7
鳥取県	258	17
島根県	251	12
岡山県	996	24
広島県	1,502	52
山口県	639	25
徳島県	422	19
香川県	472	13
愛媛県	644	41
高知県	346	6
福岡県	3,072	84
佐賀県	398	20
長崎県	701	24
熊本県	832	26
大分県	522	24
宮崎県	487	13
鹿児島県	793	14
沖縄県	608	33
不明	0	0
合計	67,723	1,889

2022年10月末時点



月刊 GEKKAN
ひと月で読めて学習できる
臨床手技のエッセンスBook

「続き」じゃないのに、「次」が待ち遠しい。——続々、発刊予定！！

生田図南 天草発 生田式歯科医療のススメ

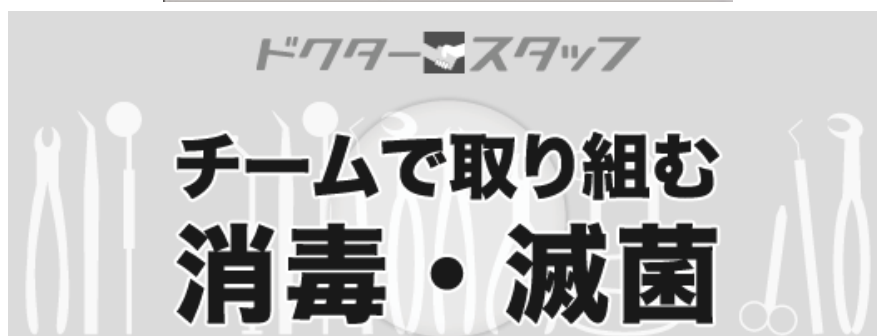
A4判・48頁・オールカラー

定価 3,240円(本体 3,000円+税)

弊社創業 30 周年の記念行事として企画されたシリーズ『月刊 GEKKAN』。臨床現場の最前線でご活躍の先生方に、得意とされる臨床手技やノウハウを伝えていただく。48 頁のハンディな作りにぎっしり中身のつまった本書からは、「技」だけでなく、著者のカラーも感じ取れる。ひと月で読めて学習できる臨床手技のエッセンス BOOK ができた！

歯科医療の未来へ

『わたしの生田歯科医院』の発行から 8 年が経過し、生田歯科医院では、消毒・滅菌のシステムをはじめ歯科診療を、より効率よく、確実なものへと進化させてきた。歯周内科治療だけではなく、歯科医療全般を通して歯科のあり方を問い、経営に結びつく医療を提案してきた著者の、未来を見据えた「いま」を、48 頁にまとめた。



ドクタースタッフ チームで取り組む 消毒・滅菌

著者 塚本高久（快適歯科空間研究所）

B5判・112頁・オールカラー

定価 4,320円(本体 4,000円+税)

医院を、スタッフを、患者さんを、守れますか？

患者さんを守り、医院を守る「消毒・滅菌」。

しかし、いざ取り組むとなると一筋縄ではいきません。

「どこから滅菌すればいいの？」 「滅菌できないものはどうするの？」

「コストがかさむのでは？」 「スタッフへの説明はどうすればいい？」

本書では、塚本歯科クリニック（愛知県）での実際の取り組みを紹介し、これらの疑問にひとつひとつ答えていきます。



あなたの歯科医院が変わる 100 のヒント

塚本高久 著

A5 判／140 頁

定価 3,672 円(本体 3,400 円＋税)

ちょっとした工夫・アイデアで医院はガラリイ変イノベーション。

快適な歯科医院づくりをめざして医院を改革し成功させた著者の、医院経営のアイデア、工夫の 100 項目を一挙公開。すぐに実践できる、簡単、低コスト、そんな「目からウロコ」のヒント集。あなたの医院を成功に導くバイブルとして必携の一冊！

歯槽膿漏の予防・歯肉炎の予防・口臭の防止

ナチュラル

薬用ペリオバスターN



内容量：100ml

医薬部外品

自然でできる
歯ぐきケア!
植物抽出エキス

アロエ

有効成分のアロエチン・アロミチン・アロエウルシンが抗細菌作用や抗腫瘍作用、抗潰瘍作用があると言われています。

アラントイン

ヒレハリソウ（コンフリー）に含まれる成分で、傷を治す組織の修復効果、細胞増殖効果があります。

桧

ヒノキチオールは抗菌力が強く、抗菌範囲が広く選択性が少ない天然由来の抗菌剤です。

人参

成分はサポニン・アミノ酸・ビタミン類・配糖体で代謝促進作用・血行促進作用などがあります。

海藻

根昆布は、血圧降下作用・育毛効果などがあると言われています。

精製水

分子レベルまでにマイクロクラスター化した活性イオン水で浸透性に優れています。

クエン酸

柑橘類に含まれる有機酸です。

発売元：株式会社 やくそうの島 **天草社**

〒863-0034 熊本県 天草市 浄南町59-3

TEL.0969(22)1192 FAX.0969(22)1119

おしえあうって、すばらしい。

Sb so easy buddy
for dental

動画マニュアルで スタッフ教育DX

歯科医院向け
動画マニュアル&SNS

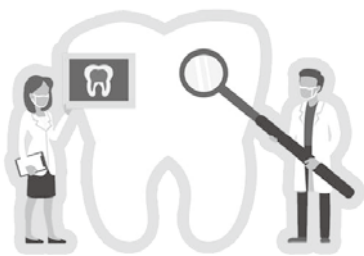
月額3.9万円～(税抜)



スタッフ教育でこのような課題がありませんか？



紙のマニュアルを作っても
更新が大変な上、活用されていない



新しいスタッフの採用、
新技術や機器の導入都度
何度も同じ説明をする必要がある



スタッフの業務が固定化・属人化し、
タスクシェアが困難

“soeasy buddy for dental”ならスマホ×動画で解決!!

簡単に動画マニュアルをシェアできるのはもちろん、画像・音声・テキストでのノウハウを検索しやすく蓄積。
さらに気づきなどをタイムリーにコメントしあえて、社内コミュニケーションを活性化。

つまり、soeasy buddy for dentalは「動画マニュアル&教育ツール」と「ナレッジデータベース」と「社内SNS」の
“いいところ”を集めた「おしえあいば」プラットフォームです。



ちょっとした空き時間で、
いつでも、何度でも視聴可能。



時間を有効活用することで、
成長スピードが圧倒的に速くなります。

サービス紹介動画



※カメラアプリを起動してかざしてください

まずはお気軽に
ご相談ください

無料 WEB 個別相談予約はこちら



導入のご相談
お問い合わせ

☎ 03-6228-1647
✉ dental@soeasy.tokyo

WEBでのお問い合わせはコチラ

🔍 soeasy buddy for dental



國際齒周內科學研究會

International Society Of Systemic Antibiotic Therapy In Periodontology